

実践『ペルソナ』通信 (No. 19)  
「実践女子大生の交友関係」に関する調査結果  
～親友の人数は2人 人間関係はせまく・ふかく築きたい～

実践女子大学人間社会学部 ペルソナ研究会は、実践女子大学生を対象に、「交友関係」についてアンケート調査を実施しました。有効回答者数は50サンプルでした。

※実践「ペルソナ」研究会は、実践女子大学人間社会学部における「統計学」、「経営学」、「マーケティング」の3つの分野のゼミ生を中心に組織され、自分たちの消費活動、ライフスタイルをはじめ「実践女子大生って、いったいどんなヒト？」を科学する研究会です。

総括

実践女子大生の交友関係の実態について、50サンプルの実践女子大生から回答を得ました。

親友の人数は、「2人」が27%と最も高い割合となりました。以下、「3人」21%、「5人以上」16%、最も少なかったのが「0人」4%との結果となりました。(図1)

友人を作る際に、自分から声をかけることができる人は62%、できない人は38%と、友人を作るような場で、声をかけることができない消極的な人もいることがわかりました。(図5)

理想の友人との付き合い方は「せまく・ふかく」が68%と一番多い結果になりました。次いで、「ひろく・ふかく」18%、「ひろく・あさく」10%、「せまく・ふかく」4%でした。大勢と付き合いよりも、少人数で1人1人とふかく関わっていきたいと考えている人が多いことがわかりました。(図8)

1ヶ月に使えるお金と遊ぶ頻度との関連がみられ、1ヶ月に使えるお金が多い人ほど、1ヶ月に友人と多く遊んでいる傾向がみられました。「5万円以上」使う人は、「5回以上」遊ぶ人が9人、「4万円以上5万円未満」、「3万円以上、4万円未満」は「5回以上」遊ぶ人は5人、「2万円以上3万円未満」使う人は「5回以上」遊ぶ人が1人となりました。(図10)

また、Twitter上の友人の人数と遊ぶ頻度との関連がありました。SNSの友人の数が多いほど友人と多く遊んでいる傾向がみられました。Twitterの友人数が「300人以上」いる人は、「5回以上」遊ぶ人が8人。また、Twitterを「利用していない」と回答した人は「1回」が3人、「2回」3人、「3回」4人とTwitter上の友人の人数が多い人ほど1ヶ月に遊ぶ頻度も高いことがわかりました。(図11)

## 調査結果のポイント

### (1) 学内で遊んだことのある友人の数は6~10人という結果に

学内で遊んだことのある友人の数は、6~10人が42%と一番多く、次いで20人以上と回答した人が26%と多かった。1~10人と遊んだことのある人が52%、10人以上と遊んだことのある人が48%になり半分半分であることがわかった。

学内で遊んだことのある友人の数は、6~10人が42%と一番多く、次いで20人以上と回答した人が26%と多かった。1~10人と遊んだことのある人が52%、10人以上と遊んだことのある人が48%になり半分半分であることがわかった。

### (2) 親友の数は平均2人

親友の数の平均は、学内では0.96人、学外では2.12人であった。学外の親友ができる環境は、高校、中学校、小学校の順番に多く9割を占めほとんどは学生時代に親友ができることが多い。その他の回答では共通の趣味で知り合った親友がいることがわかった。

### (3) 異性の友人がいる人は7割

異性の友人がいると回答した人は76%、いないと回答した人は24%だった。普段異性と接する機会は少ないのではないかと考えていたが、7割の人は異性の友人がいることがわかった。

### (4) 人を作る際に自分から声をかける人は6割

友人を作る際に自分から声をかける人は62%、かけない人は38%だった。半分以上の人は、自分から積極的に声をかけているようだ。

### (5) 1ヶ月に友人と3回以上遊んでいる人は7割

1ヶ月に友人と遊ぶ頻度は、5回以上が42%で1番多く次に多かったのは3回で20%だ。4回の6%を含めると約70%の人が1ヶ月に3回以上遊んでいるのだ。

### (6) カフェなどの飲食店で遊ぶ人が6割

友人と遊ぶ場所として、カフェなどの飲食店と回答した人が66%と1番多く、次に多かったのがカラオケと回答した人で16%だった。女子大生は、話せる環境を求めていると考えられる。

### (7) 友人との理想の付き合い方はせまく・ふかく

友人とどのように関係構築したいか調べたところ、せまく・ふかくと回答した人が68%と約7割を占めた。次に多かったのはひろく・ふかくと回答した人が18%。およそ9割の人が友人とふかく関わることを望んでいるようだ。

### (8) 1ヶ月に使えるお金は5万円以上が3割

1ヶ月に自由に使えるお金を調べたところ、5万円以上が28%、次に2万円以上3万円未満と4万円以上5万円未満が共に20%だった。約85%の人は1ヶ月に自由に使えるお金が2万円以上あることがわかった。

### (9) 使えるお金が多いほど友人と遊ぶ頻度が高い

お金の余裕のある人のほうが友人と多く遊んであることがわかった。遊びに出かけるとお金を使うことになるから、お金を多く持っている人ほど遊ぶ回数が増える結果になった。

### (10) Twitter上の友人が多いほど遊ぶ頻度が高い

Twitter上の友人と遊ぶ頻度には関係あることがわかった。友人が多いほど、遊ぶ人の選択肢が増えることが関係あるのではないかと考えられる。

## 調査結果について

### <調査概要>

1. 調査対象： 実践女子大生 1 年～ 3 年生 (渋谷キャンパス、日野キャンパス在生)
2. 調査方法： 質問紙によるアンケート
3. 調査期間： 2015 年 11 月 14 日～11 月 21 日
4. 有効回答者数： 50 人
5. 回答者の属性：【実践女子大学生：学年】1 年：36%、2 年：30%、3 年：34%

### 【本調査担当チーム】

実践女子大学 人間社会学部 実践「ペルソナ」研究会

3 年 阿部 芽生

3 年 五十嵐 実咲

3 年 友安 杏理

## 調査結果データ

(1) 学内で遊んだことのある友人は 6 人～10 人という回答が多い結果になった。次に多かった回答が 20 人以上の友人と遊んでいるという結果であった。(図 1)

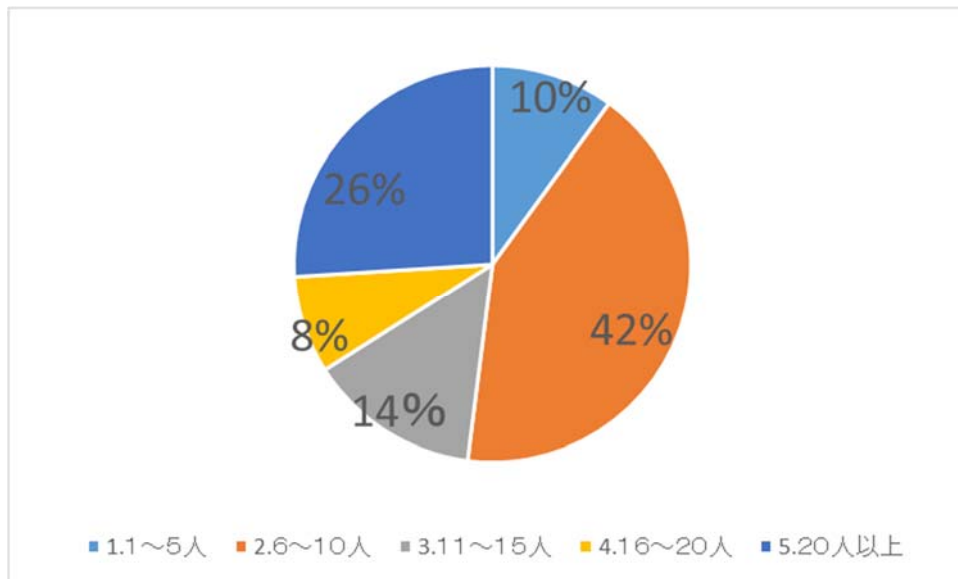


図 1 学内で遊んだことのある友人の数(n=50)

(2) 親友は学内では平均 0.96 人、学外では平均 2.12 人いる

親友の人数を尋ねたところ、「2 人」と回答した人 27%と多かった。次に「3 人」と回答した人が 21%となった。親友は「5 人以上」という人も 16%いた。(図 2)学内、学外のそれぞれの親友の人数を尋ね、平均を出した。学内では 0.96 人、学外では 2.12 人親友がいるということが分かった。学外の親友どこで出来たのか尋ねると中学校、高校という回答が多くみられ、アルバイト先という環境では親友は出来ないということが分かった。その他の回答としては共通の趣味で知り合った人が親友という回答がみられた。

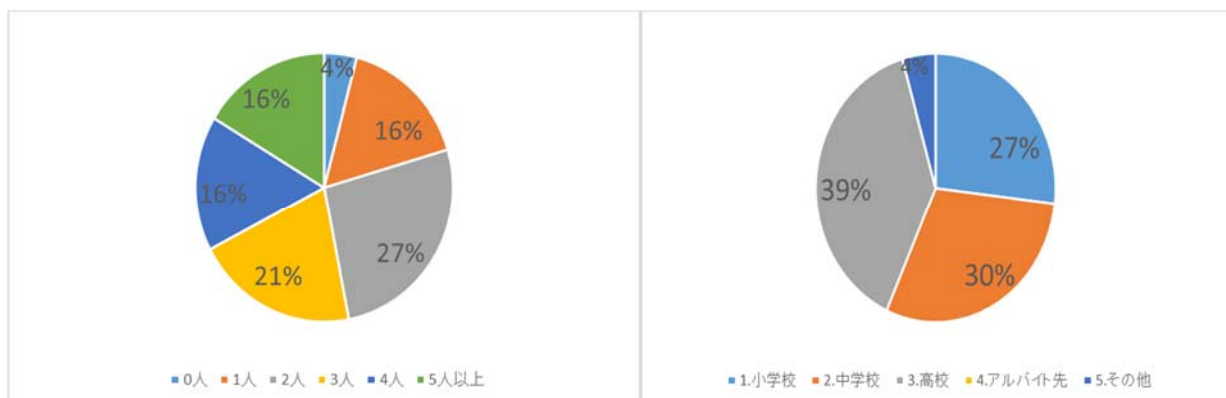


図 2 親友の人数(n=50)

図 3 いつ親友ができたのか

(3) 異性の友人がいる人は 76%

異性の友人がいるかという質問に対して、はいと回答した人は 76%、いいえと回答した人は 24%であった。(図 4)

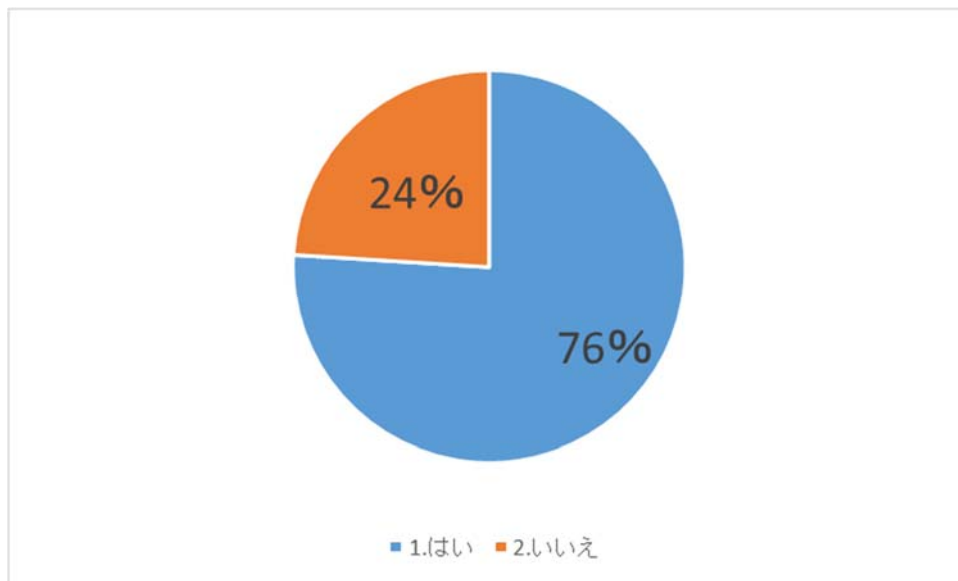


図 4 異性の友人 (n = 50)

(4) 自分から声をかける人は 62%

友人を作る際に、自分から声をかけるかという質問に対して、はいと回答した人は 62%、いいえと回答した人は 38%であった。(図 5)

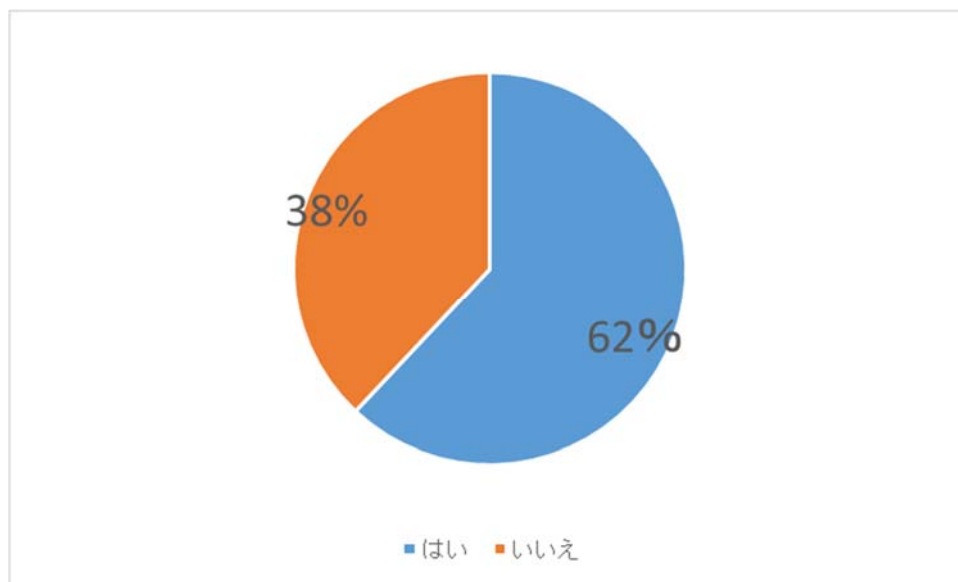


図 5 自分から声をかけるか (n = 50)

(5) 1 ヶ月に友人と 3 回以上遊ぶ人は約 7 割

1ヶ月に友人とどのくらいの頻度で遊ぶのか尋ねたところ、5回以上遊ぶという回答が42%と多かった。3回と回答した人が20%と次に多かった。4回と回答した人は6%だったが、約70%の人が1ヶ月に3回以上は友人と遊んでいることがわかる。(図6)

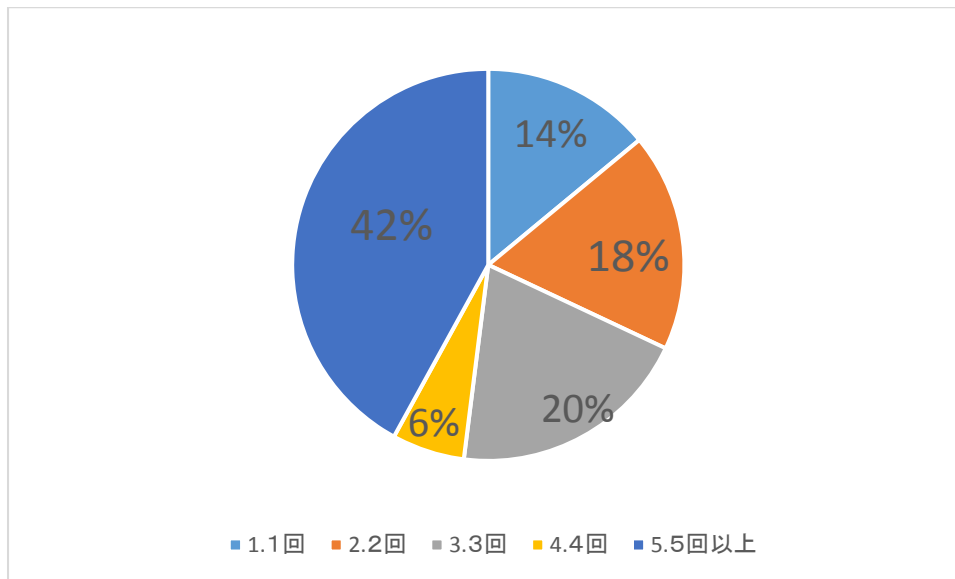


図6 遊ぶ頻度 (n=50)

(6) 66%が友人と遊ぶ場所にカフェなどの飲食店を選ぶ

友人と遊ぶ場所に関しては、カフェなどの飲食店を選んだ人が最も多い結果となった。一方、「遊園地などテーマパーク」と、「自分または友人の家」の選択肢も調査票にいたが、回答した人はいなかった。その他の回答としては、好きなアーティストのライブなどが挙げられた。

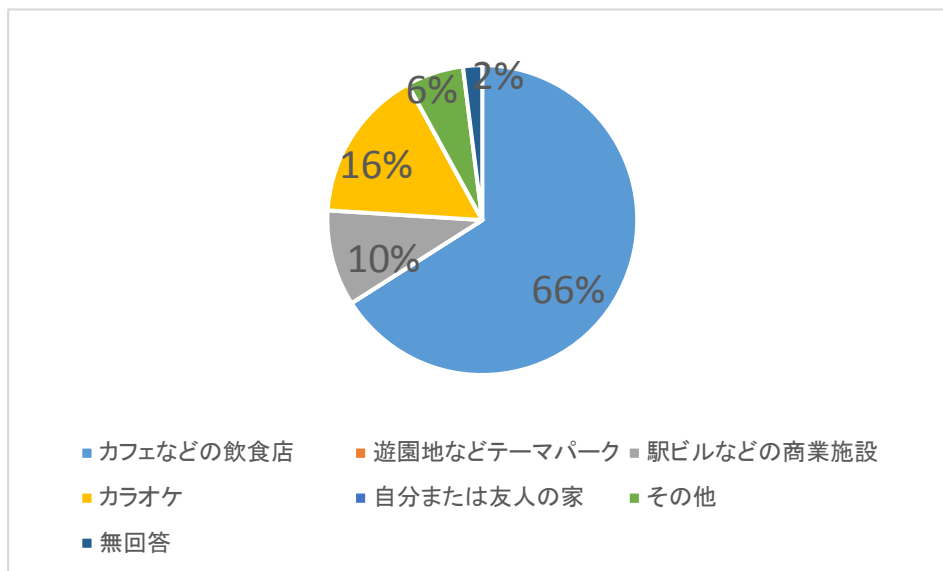


図7 友人と遊ぶ場所 (n=50)

(7) 友人との理想の付き合い方はせまく・ふかく

友人とどのように関係を築いていきたいのか尋ねたところ、68%の人が「せまく・ふかく」と回答した。大勢と付き合いよりも、少人数で1人1人とふかく関わっていきたいと考えている人が多いことがわかる。(図8)

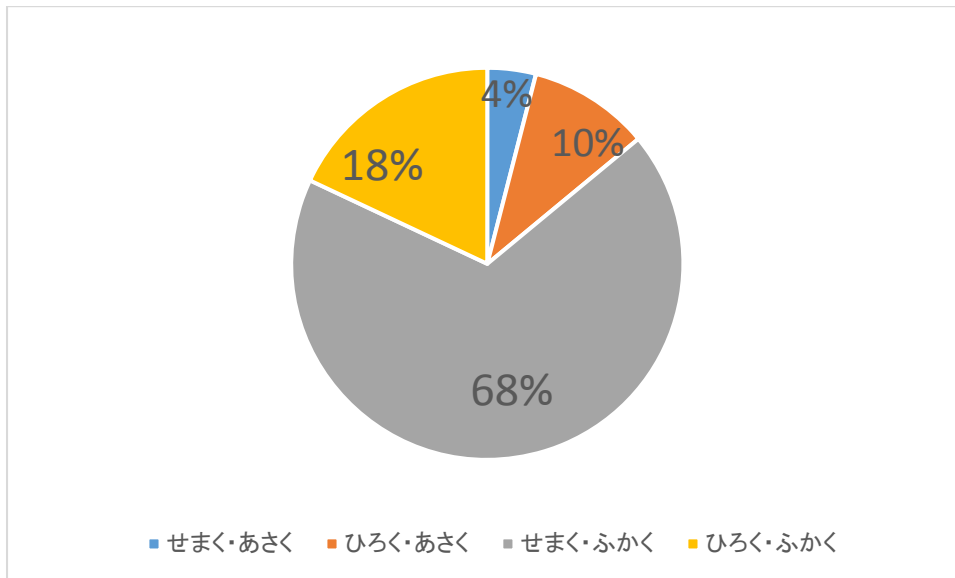


図8 理想の友人との付き合い方 (n=50)

(8) 1ヶ月に自由に使えるお金は5万円以上が最も多い

28%が1ヶ月に5万円以上自由に使えると回答し、最も多い結果となった。また、2万円以上3万円未満と、4万円以上5万円未満が共に20%と続いた。一方で、最も少ない結果は4%が回答した1万円未満であった。(図9)

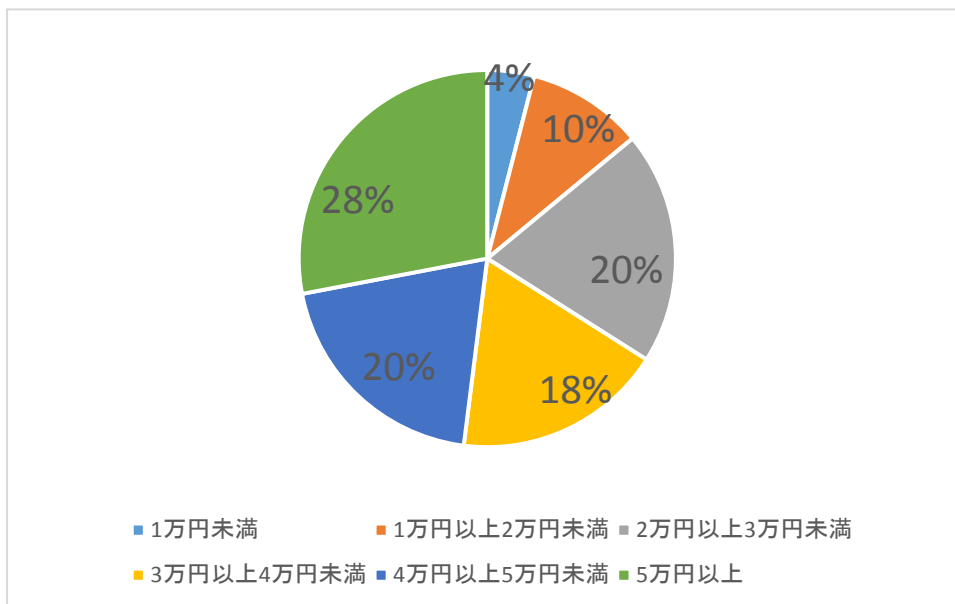


図9 1ヶ月に自由に使えるお金 (n=50)

(9) 1ヶ月に使えるお金と遊ぶ頻度の関係

「1ヶ月に使えるお金」と「1ヶ月の遊ぶ頻度」の関係についてクロス集計を行ったところ、1ヶ月に使えるお金が多い人ほど、1ヶ月に友人と多く遊んでいることがわかる。「5万円以上」使う人は、「5回以上」遊ぶ人が9人、「4万円以上5万円未満」、「3万円以上、4万円未満」は「5回以上」遊ぶ人は5人、「2万円以上3万円未満」使う人は「5回以上」遊ぶ人が1人となった。(図10)

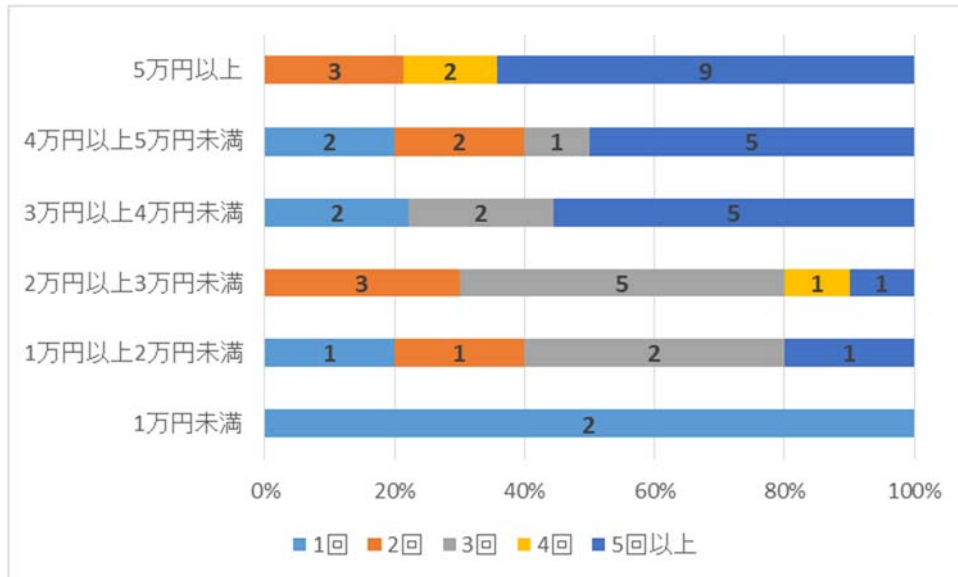


図 10 1ヶ月に使えるお金と遊ぶ頻度の関係 (n=50)

(10) Twitter 上の友人の人数と遊ぶ頻度の関係

「Twitter 上の友人の人数」と、「遊ぶ頻度」のクロス集計を行った。SNS の友人の数が多いほど遊ぶ頻度が高いのではないかと仮説をたてた。その結果、Twitter の友人数が「300 人以上」いる人で、「5 回以上」遊ぶ人が 10 人中 8 人いる。また、Twitter を「利用していない」と回答した人は「5 回以上」遊ぶ人は 1 人と少ないことから、Twitter 上の友人の数が多い人は 1ヶ月に遊ぶ頻度も高いことがわかる。(図 11)

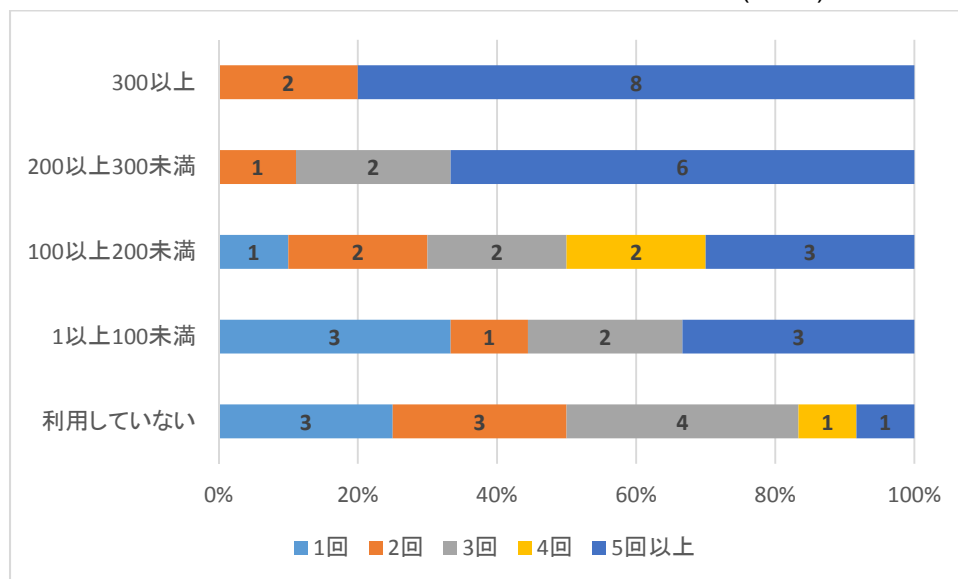


図 11 Twitter 上の友人の数と遊ぶ頻度 (n=50)